

# FileMaker Server CWP & Security Basic

2016/08/06

INTER-Mediator 《大》勉強会 2016

松尾篤（株式会社エミック）

# Agenda

- FileMaker Serverの概要
- FileMakerのセキュリティ機能
- カスタムWebとセキュリティ

# FileMaker Serverの概要

# FileMaker Server



# FileMaker Server

- FileMakerデータベースの共有・公開を行うためのサーバーソフトウェア
- バックアップ機能を標準搭載
- SSL/TLSに対応、Open DirectoryやActive Directoryを使用した認証やWeb公開機能等も利用可能

# さまざまな共有方法

- FileMaker Pro / FileMaker Go で接続
- Webブラウザで接続 (FileMaker WebDirect、 Custom Web Publishing)
- ODBC / JDBC経由で



FileMakerの

セキュリティ機能

# アカウントと アクセス権セット

- アカウントで個々のユーザーを識別
- アクセス権セットでユーザー（1人または複数）のアクセス制限を定義



# まずパスワードを設定

- パスワードの入力を求めるようにする
  - [次のアカウントを使用してログイン]のチェックを外す
- 完全アクセス権付きアカウントにパスワードを必ず設定する

# 用途別にアカウントを追加

- アクセス権セットを作成
- データアクセスとデザインのアクセス権を細かく定義することを推奨
- 拡張アクセス権を追加
- 作成したアクセス権セットを割り当てたアカウントを作成

# 拡張アクセス権

- fmphp : PHP Web公開
- 純正のFileMaker API for PHP
- fmxml : XML Web公開
- INTER-Mediator、FX.php等

# Admin Consoleの設定

- [各ユーザがアクセスを許可されているデータベースのみをリスト表示する]
- [データベース接続に SSL を使用する]、 [プログレッシブダウンロードに SSL を使用する]

# その他知っておきたいこと

- [マルチユーザ設定] スクリプトステップ
- ファイルへのネットワークアクセスを許可または拒否

# その他知っておきたいこと

- [ファイルアクセス] の [このファイルへの参照の使用に完全アクセス権を要求する]
- [環境設定] の [プラグイン] にある [ソリューションにファイルのインストールを許可]

# その他知っておきたいこと

- FileMaker Pro Advancedであればデータベースファイルを暗号化できること
- ファイルオプションの [このファイルを開くことのできる最低バージョン]
- fmscriptdisabled拡張アクセス権はバージョン15で利用可能

# カスタムWebと セキュリティ



# アカウントと アクセス権セット

- カスタムWeb公開（CWP）でも有効
- アカウントとアクセス権セットで権限を調整
- 保護されているフィールドにはアクセスできない

# レイアウトは セキュリティにあらず

- データの表示をレイアウトのみに依存している場合はデータは保護されていない状態と同じ
- アカウントとアクセス権セットを適切に設定することが大事
- 不要な権限や機能は無効にする

# XML Web公開

- INTER-MediatorはXML Web公開を利用
- 必要がなければ/fmi/xml/以下のパスには外部から接続できないように設定することを推奨
- FileMaker API for PHPも内部的にはXML Web公開を使用している

# 安全なWebアプリを作る

- 「安全なウェブサイトの作り方」
- <https://www.ipa.go.jp/security/vuln/websecurity.html>

# SSL/TLSの利用

- HTTPでは通信は暗号化されない
- 用途・目的に応じてHTTPではなくHTTPSの利用を検討
- 認証局からSSLサーバー証明書を購入

まとめ

# まとめ

- データベースソフトウェアが備えるセキュリティ機能を理解する
- フレームワークが提供するセキュリティ機能と前提条件を把握する
- Webアプリケーションの脆弱性をなくす一般的な解決策を知る